神戸布引ハーブ園

秋ならでは 優雅な時間を

ロープウェイで約10分。標高400㍍の山上から港町神戸を一望できるリゾート施設「神戸布引ハーブ園／ロープウェイ」（神戸市中央区）では、12月４日まで「GARDEN FEST 2022－Autumn」を開いている。

「ドイツ祭り」では、ドイツの古城を模した屋外空間で、ドイツビールやワイン、ハーブソーセージを堪能。11月27日までの「ガーデンピクニック」では、秋色に染まりゆくガーデンで、ワンランク上のピクニックが手ぶらで楽しめる（１日10組限定、要予約）。

11月12日からの「古城のクリスマス2022」には、自然素材を使った約６㍍のクリスマスタワーや直径約３㍍のウエルカムリース、グリューワインを片手にドイツ雑貨などの買い物を楽しむ「クリスマスマーケット」も登場する。

本場ドイツ風のクリスマスマーケットが楽しめる

布引の紅葉やコスモスをめでながら、秋ならではの優雅な時間を過ごしませんか。神戸布引ハーブ園／ロープウェイ☎078・271・1160

六甲山牧場

「秋まきば」蹄鉄投げやグルメ堪能

澄み渡った高い空と清涼な山の空気を楽しむには最高の季節！六甲山牧場（神戸市灘区）では10月２日～11月３日、毎年恒例のイベント「秋まきば」が開かれる。

秋空の下、ヒツジたちも気持ちよさそう

10月２日にはホースショーや蹄鉄投げ大会、ロープピング体験など、馬にまつわるイベントが盛りだくさんの「カウボーイフェスティバル」を実施。同29日には牛の飼育員が解説する「酪農教室」など、期間中は多彩な企画がめじろ押しだ。

乳製品やウールクラフトの手作り体験のほか、搾りたての牛乳や自家製チーズの料理など、牧場ならではのグルメもぜひ味わいたい。動物たちとの触れ合いの前後には、手洗いや消毒をお忘れなく。

イベントの詳細はホームページ（https://rokkosan.jp）で。六甲山牧場☎078・891・0280

摩耶山天上寺

俳人も蝶も 秋の寺を心ゆくまで

古来、多くの俳人に親しまれてきた摩耶山天上寺（神戸市灘区）では「第30回摩耶山俳句大会」を開く。昨年に続き郵送投句方式で、摩耶山で詠んだ未発表の俳句を募集している。

摩耶山観光文化協会が主催。出句は１人３句に限り、旧かな表記の四季雑詠とする。応募は11月15日（消印有効）までに、投句料（千円）を添えて、同協会事務局（〒657－0105　神戸市灘区摩耶山町２の12、摩耶山天上寺内）へ。

このほか、９～12月中は毎日、「七五三まいり」の祈祷を受け付け中。10月18日午前11時からは、天上寺を開創したインド僧法道仙人をたたえる法会「法道仙人祭」を行う。

また、９月末～10月中旬には、渡り蝶のアサギマダラが境内に飛来。例年、最盛期には１日数百羽が舞い飛ぶ。いずれも詳細は、同寺ホームページや電話で確認を。天上寺☎078・861・2684

天上寺境内に訪れるアサギマダラ

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内 山の四季便り

夜の山上 ゆらめく明かり

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

山の夜は、畏怖を覚えるほど神秘的だ。森の木々は漆黒のシルエットを描き、都市では見ることがないほど闇が濃い。夜空に輝く星は、街で見るのと違ってくっきりと近い。夜の山歩きはリスクが多いのでお勧めしないが、「六甲ミーツ・アート」の夜の部なら、気軽に楽しむことができる。

23日から「ひかりの森―夜の芸術散歩―」が始まった。ミーツ・アート会期中の土・日・祝日に開催。会場となるのは、ROKKO森の音ミュージアムと、隣接する六甲高山植物園だ。

開幕前の試験点灯を取材してきた。

宵闇迫る森の音ミュージアムの庭で、色とりどりの小さな光が揺れていた。近くで見ると、ひとつひとつが笑っている。高橋匡太さんによる参加型のアートプロジェクト「ひかりの実」。

果物の保護袋に子どもたちが笑顔を描き、LEDライトを入れたもの。東日本大震災の年、被災地の子どもたちを励ますために考案、以来各地で開催されてきた。森の木々に実った無数の明かりがゆらめいているのはとても幻想的で、都市部の開催地とはひと味違う、六甲山ならではの景観だと思う。

隣の高山植物園でも、高橋さんの作品「キラ★キラ★キラリ～夜の絵の具を探せ～」が鑑賞できる。今年は新たな試みが取り入れられており、夜の園内を巡る楽しみが付加された。色とりどりの〝宝石〟を探し出し、〝宝石箱〟に入れると、光の演出が色によって変化するというもの。

この日の山上は深い霧が出て、異世界に迷い込んだかのようだった。天候によって作品の見え方が変わるのも、六甲ミーツ・アートの醍醐味。紅葉が始まると、また雰囲気が変わる。

ただし、夜の山上はかなり冷え込むので、十分な防寒対策が必要。ガーデンテラス、六甲枝垂れのライトアップもお勧め。

ちなみに、森の音ミュージアムの庭園「SIKIガーデン」では、結婚式の前撮り撮影「ウェディングフォトプラン」が人気。会期中の平日限定で「ひかりの実」スポットを貸し切り利用できる企画もある。予約制。問い合わせはROKKO森の音ミュージアム☎078・891・1284へ。

六甲ミーツ・アート「ひかりの森」

23日から始まった「六甲ミーツ・アート」の夜の部「ひかりの森―夜の芸術散歩―」

ROKKO森の音ミュージアムの庭にまたたく高橋匡太さんの「ひかりの実」

高山植物園で公開されている高橋匡太さんの作品「キラ★キラ★キラリ～夜の絵の具を探せ～」

六甲ミーツ・アート2022「ひかりの森」　入場料　ナイトパス大人（中学生以上）1600円、4歳～小学生800円。六甲ミーツ・アートの有料施設入場券がセットになった、ナイトパス付き鑑賞パスポート（大人3200円）もある。六甲ミーツ・アートインフォメーション☎078・891・0048

総合学部

◆10月のミントサロン「日本一の酒どころ『灘五郷』を支える六甲山の恵み」　10月12日19～20時、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。菊正宗生産部部長の高橋俊成さん＝**写真**＝が、灘の酒と六甲山のつながりについて話す。無料。先着25人。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）またはファクス（078・360・5514）で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

環境学部

◆世界の森のもみじ巡り「森林もみじ散策」　10月22日～11月30日９～17時、11月３日以降の平日は18時半、土日祝日は19時半まで（入園は閉園の30分前まで）、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。イロハモミジなど38種約3000本の樹木の紅葉＝**写真**＝を楽しむことができる。11月３日以降は紅葉のライトアップも実施する。無料（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。同園☎078・591・0253

芸術学部

◆特集タイム　スイスのオルゴール　11月23日まで、11時35分、14時35分、（各回10分程度）、ROKKO森の音ミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」）。シリンダー・オルゴールの一大生産地で名をはせたスイスのアンティーク・オルゴール＝**写真**＝に焦点をあてて紹介する。曲目はオペラ「椿姫」から「ああ、そはかの人か」、オペラ「クラリ」から「埴生の宿」など。無料（別途入場料中学生以上1300円、４歳～小学生600円）。予約不要。期間中は無休。同ミュージアム☎078・891・1284

健康学部

◆ウエルネスウォーキング森林さんぽ　10月22日10～12時、県立甲山森林公園管理事務所前集合（阪神「西宮」駅から阪神バス鷲林寺循環線「県立甲山森林公園前」）。ドイツで治療としても実施される「気候性地形療法」を活用し、心拍の管理をしながらノルディックポールを使って健康的に楽しく森を歩く＝**写真**。講師は藤川真司さんほか。飲み物、手袋など持参。参加費1000円、高校生以下500円（別途ポールレンタル料500円）。対象は小学生以上。先着20人。電話で申し込む。小雨決行。荒天中止。同公園管理事務所☎0798・73・4600

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

王子の森・自然学校に子供たちが参加

王子グループは日本に188千ヘクタール、海外には385千ヘクタール、あわせて573千ヘクタールの森をもっています。王子の森を活用する取り組みの一つとして、小学校4年生から6年生までを対象とした自然体験型環境教育プログラム「王子の森・自然学校」を、2004年から実施してきました。

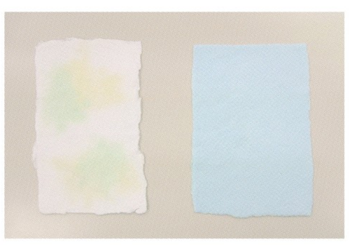
17回目となる今年は7月25日(月)～27日(水)に、昨年に引き続きオンライン形式で実施。3日間で累計230名の小学生が参加しました。

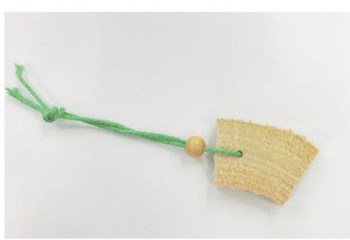
今年は1つ1つの学びをより深めるために、2種類のプログラムを提供しました。1つ目のプログラム「森のリサイクル編」では、植林による森の循環や、森林の持つ多面的機能について、2つ目の「紙のリサイクル編」では紙が持つ3つの役割や古紙から紙への再生についてクイズや動画鑑賞を通して学びました。また、各プログラム後半では、間伐材を活用したキーホルダー作りや、紙すきセットを使った手すきはがき作りを行いました。

参加した子供たちからはプログラム中に沢山の質問や意見が出され、また、プログラム終了後の保護者向けアンケートでは、「勉強だけでなく手を動かす機会もあって、とても楽しかった」・「質問もできる参加型の授業だったので、楽しく参加できた」等の声が寄せられました。王子の森・自然学校は、次世代を担う子ども達に環境保全に対する姿勢や思いを繋ぐ、貴重な機会となっています。

王子ホールディングス

→参加した子供たちと講師（王子ホールディングス社員）


→紙すきセットで作った手すきはがき


→間伐材を活用したキーホルダー

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています　OJI　JT　Daiwa House　TAKENAKA　（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp